

あなたのやりたいことって何ですか？ —先生のまなざしから考えるアート／教育—

8月17日(土) 14:00~16:30

定員:先着50名 参加無料

(定員に達しましたら受付を終了いたします)

会場:前橋市芸術文化れんが蔵

(〒371-0015 群馬県前橋市三河町1丁目16-27)



↑お申込はこちら↑

やりたいことをやれていますか？ やりたいことをやれるようにしていますか？

本シンポジウムの目的の1つは、登壇者の実践や研究を多くの方に紹介することです。3名のフィールドは、小学校や中学校、特別支援教育や社会教育、通級指導教室と様々です。どの取り組みにも、アート／教育について考えたいインパクトとパワーがあります。

もう1つの目的は、会場にいる皆さんと、アート／教育について色々なお話をすることです。そして互いの考えを揺さぶり合いたいと思っています。シンポジウムの中で何か明確な答えは出ないかもしれません。モヤモヤした思いで帰路につくことになるかもしれません。それでもその揺さぶりが、より魅力的なアート／教育を生み出すきっかけになると思っています。このシンポジウムでは、登壇者の実践や研究をもとに「やりたいこと」という視点からお話を深めていきたいと考えています。

学校の先生だけでなく、アートや教育に関心のある方ならどなたでも大歓迎です。お気軽にご参加ください。

●登壇者



小西 悟士

(こにし さとし)

埼玉大学教育学部附属中学校教諭

武蔵野美術大学造形学部空間演出デザイン学科ファッションデザインコース卒業。同研究室教務補助、助手、アパレル会社勤務を経て2008年中学校教諭へ。「はみ出す力展〜図工・美術の授業展2019-2022〜」開催(うらわ美術館)。共著書、論文多数。



高松 智行

(たかまつ ともゆき)

横須賀市立明浜小学校ことばの教室
カマクラ図工室

小学校教員の傍ら、社会を図工室に見立てた「カマクラ図工室」でアーティストと共に小中学生の「未定調和」の旅をサポートしている。現在は、ことばの教室の教員として、子どもたちの「違い」をユーモアに変えて、誰もが安心できる教室づくりを試みている。



茂木 一司

(もぎ かずじ)

跡見学園女子大学教授
群馬大学名誉教授

「現代はアートの時代」(R.シュタイナー)を実践するために、アートによる共生社会構築をめざす「インクルーシブアート教育」を模索中。近著に、『視覚障害のためのインクルーシブアート学習』(ジヤース教育新社、2022)、『色彩ワークショップ』(日本色研事業、2020)など。

- ・ 当イベントは対面開催のみとなっております。
- ・ 会場駐車場には限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。
- ・ 駐車場が満車の場合は、お近くのコインパーキングをご利用ください。
- ・ 参加を希望される方は上記のQRコードを読み込みお申し込みください。
- ・ 参加をキャンセルされる場合は、以下の連絡先(ぐんびけん)までご連絡ください。
問い合わせ: gunbiken@gmail.com (QRコードが読み込めない方もこちらにご連絡ください)

共催: 特定非営利法人まえばしプロジェクト
協力: 群馬大学長期研修院美術教育